



リモート ワーカー緊急コール

- ・ [リモート ワーカー緊急コールの概要 \(1 ページ\)](#)
- ・ [リモート ワーカー緊急コールの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- ・ [リモート ワーカー緊急コールの設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)

リモート ワーカー緊急コールの概要

リモート ワーカー緊急コール機能により、顧客はリモート バーチャルプライベート ネットワーク (VPN) 接続を使用した信頼性の高い緊急コールサポートをリモート ワーカーに提供できます。オフプレミスユーザからの緊急コールは公安応答局 (PSAP) にルーティングされ、各コールではユーザが提供するロケーション情報が配信されます。

この機能を使用するには、デバイス登録が中断されるたびにリモートワーカーがロケーションを確認または更新する必要があります。最初に、オフプレミス向けデバイス (顧客のネットワークにリモート接続するデバイス) にカスタマイズ可能な免責事項通知が表示されます。この通知は、正しいロケーション情報を提供するようにユーザに指示します。ロケーション情報が提供されると、指定したデバイスに現在関連付けられているオフプレミスロケーションが表示されます。ユーザは現在のロケーションを確認するか、または保存されている別のロケーションをデバイスのディスプレイで選択します。新規ロケーションの場合、ユーザに対し、新規ロケーションを作成するための Cisco Emergency Responder Off-Premises User Web ページが表示されます。

管理者はこのプロセスを完了する前に、デバイスがコールできる接続先を、設定されている 1 つの接続先だけに制限できます。この操作により、デバイスのユーザは免責事項に同意し、現在のロケーション情報を提供した後で、デバイスを通常どおり使用できるようになります。

リモート ワーカー緊急コールの前提条件

リモートワーカー緊急コール機能を設定する前に、Cisco Emergency Responder で Intrado (サードパーティ製アプリケーション) を設定する必要があります。での @ の設定の詳細に Cisco Emergency Responder については、を参照してください。 [Cisco Emergency Responder アドミニストレーションガイド](#)

リモートワーカー緊急コールの設定タスクフロー

始める前に

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | リモートワーカーとしてのユーザの設定 (2 ページ) | 構外デバイスをデバイスの所有者と関連付けます。 |
| ステップ 2 | 緊急コールの代替ルーティングの指定 (3 ページ) | これらのパラメータは、コーリングサーチスペースと接続先番号を指定します。これらは、ユーザがロケーションを設定しないことを選択した、登録済みの構外デバイスから発信されたコールのルーティングを制限するために使用されます。これらのパラメータが設定されていない場合、コールは通常どおりルーティングされます。 |
| ステップ 3 | アプリケーションサーバの設定 (3 ページ) | エンドユーザを、デバイスのロケーションを入力したアプリケーションサーバに直接接続します。 |
| ステップ 4 | E911 メッセージの設定 (4 ページ) | 構外のエンドユーザの電話機に表示される E911 メッセージを設定します。 |

リモートワーカーとしてのユーザの設定

始める前に

Cisco Emergency Responder に Intrado が設定されていることを確認します。Cisco Emergency Responder での Intrado の設定の詳細については、[Cisco Emergency Responder アドミニストレーションガイド](#)を参照してください。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- ステップ 2 電話機を検索するのに適切な検索条件を入力して、[検索 (Find)] をクリックします。検索基準に一致する電話機のリストが表示されます。
- ステップ 3 リモートワーカー緊急コールを設定する電話機を選択します。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [デバイス情報 (Device Information)] セクションで、[オーナーのユーザー ID (Owner User ID)] ドロップダウンリストから適切なユーザ ID を選択して、[オフプレミスロケーションを要求 (Require off-premise location)] チェック ボックスをオンにします。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急コールの代替ルーティングの指定

コーリング サーチ スペースと接続先番号を設定するには、次の手順を実行します。これらのパラメータは、ユーザがロケーションを設定していない構外に登録してあるデバイスからのコールのルーティングを制限するために使用されます。これらのパラメータを設定しない場合、コールは通常どおりにルーティングされます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)]。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウン リストからサーバを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウン リストから、[Cisco CallManager] を選択します。
[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [クラスタ ワイドパラメータ (構外のロケーションへの緊急コール) (Clusterwide Parameters (Emergency Calling for Required Off-premise Location))] セクションで[緊急コールの接続先の指定 (Alternate Destination for Emergency Call)] を指定します。

ステップ 5 [緊急コール用コーリング サーチ スペースの指定 (Alternate Calling Search Space for Emergency Call)] を指定します。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

アプリケーション サーバの設定

E911 プロキシが Cisco Emergency Responder と通信できるようにするには、アプリケーションサーバを設定する必要があります。E911 プロキシは、ユーザがデバイスの場所を入力するアプリケーションサーバにユーザを転送するために使用されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [アプリケーション サーバ (Application Server)] を選択します。

ステップ 2 [新規追加] をクリックします。

[アプリケーション サーバ (Application Server)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [アプリケーション サーバのタイプ (Application Server Type)] ドロップダウン リストで [CER のロケーション管理 (CER Location Management)] を選択します。

ステップ 4 [次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 5 [名前 (Name)] フィールドで、設定するアプリケーション サーバを特定する名前を指定します。

ステップ 6 [IP アドレス (IP Address)] フィールドに、設定するサーバの IP アドレスを入力します。

ステップ 7 [使用可能なアプリケーション ユーザ (Available Application Users)] のリストから、アプリケーション ユーザを選択し、下向きの矢印をクリックします。

ステップ 8 [エンド ユーザの URL (End User URL)] フィールドに、このアプリケーション サーバに関連付けられるエンド ユーザの URL を入力します。

ステップ 9 [保存 (Save)] をクリックします。

E911 メッセージの設定

次の手順を使用して、構外デバイスの E911 メッセージを選択して編集します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。 [システム (System)] > [E911 メッセージ (E911 Messages)]。

ステップ 2 E911 メッセージの必要な言語リンクを選択します。

[E911 メッセージの設定 (E911 Messages Configuration)] ページには、利用規約、免責事項、およびエラー メッセージが表示されます。

ステップ 3 (任意) 構外デバイスに表示される E911 メッセージを編集します。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。